埼玉空衛協ニュース

風と水と

平成30年

新春号

No.67

尾の内　冬の渓谷美

一般社団法人　埼玉県空調衛生設備協会

年頭のご挨拶

「担い手の確保へ幅広い支援を」

一般社団法人埼玉県空調衛生設備協会　会長　大原　萬彌

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかに平成30年の新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、夏の甲子園で花咲徳栄高校が県勢初となる優勝を果たし、浦和レッズがアジアチャンピオンズリーグで優勝するなど、スポーツの明るい話題があり、私たち県民にとっては、喜ばしく平穏な1年でありました。

ちなみに今年平成30年は戊年です。戊年の年は、「昨年芽生えた新たな意味や価値がグッと成長する年」といわれています。ただし、この芽吹きが上手くいかなかったり、中途半端に過去に囚われたり拘ったりしていると、それが長するか、枯れてしまうか、この平成30年の戊年は、運気が大きく変わる」ということだそうです。心して1年を過ごしたいと思います。

さて、日本の総人口現象が顕著なものとなる中にあって、各業界の今日的課題は申すまでもなく担い手をいかに確保し育て上げるかにあります。建設業関係は、汚い、危険、休暇も思うようにとれないなどから、若手入職者が敬遠する状況にあります。加えて、多くの熟練技術者が定年の年齢に達するなど技術者不足も深刻なものとなっています。

こうした建設業界の担い手不足に対処するため、当協会では、建設産業団体連合会の「建設産業担い手確保・育成ネットワーク」の活動に参加し、県の「担い手確保・育成事業」の対象である入職促進、職場定着及び資格取得支援など、幅広い事業を行うこととしています。

平成29年度も、公益目的支出事業として、浦和工業高等学校生徒のエアコン取付設置体験の技術指導、川口高等技術専門校空調システム科生徒に対して、入職促進を図る設備業界セミナーを開催しました。

また、職場定着を図るため、現場マナーとCSの働く場の確保や地域デビューの後押しなど、それぞれの希望にかなった社会参加を支援していきます。そして、健康寿命を延ばし医療費の抑制にも効果のある「健康長寿埼玉モデル」を県全体に広げ、全ての人が活躍できる埼玉を目指します。

また、これからは人手不足を補いつつ生産性向上にもつながる人工知能やロボットなどの最新技術の普及が加速度的に進むと思われます。そこで今後10年を考えると、まずは新しい成長産業を創り、の重要性を学んだ「新人若手のための技能者育成講話」、話し方のスキルや会話術のコツを会得する「フォローアップ研修」を開催しました。

そして資格取得事業として、将来この業界の指導的立場を担う人材育成のために、「1級管工事施工管理技士受験準備講習会（学科・実地）」を開催。また、若手・中堅技術者育成のため新たに「2級管工事施工管理技士受験準備講習会」を企画、実施しました。

協会では、こうした担い手確保・育成事業について、戊年の今年、心して今まで以上に前向きに地道な努力を重ねる所存であります。しかし、どれもこれも会員の皆様、関係機関・団体の皆様方のご協力なしに事業展開できるものではございません。この1年も皆様の絶大なるご協力をお願い申し上げます。

最後に皆様方のますますのご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

「10年先を見通した埼玉づくり」

埼玉県知事　上田　清司

明けましておめでとうございます。

一般社団法人埼玉県空調衛生設備協会の皆様には健やかに平成30年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、花咲徳栄高校が全国高校野球選手権大会で埼玉県勢初の優勝を成し遂げるという、とてもうれしい出来事がありました。

埼玉県も元気です。

日本の総人口が減少する中、本県は全国3位の増加率で730万人を超えました。平成15年からの名目県内総生産の増加額は全国2位、平成17年から10年間の企業本社転入超過数は全国1位です。

そして、来年はラグビーのワールドカップ大会が、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。県民の皆様と共に「オール埼玉」で大会を盛り上げていきたいと思います。

さて、今年は平成30年という節目の年であることから、過去を振り返り、先の10年を考えてみたいと思います。

我が国の生産年齢人口は平成7年をピークに減り始め、その減少数は今年で1200万人を超え10年後はさらに500万人減ると見込まれています。正にこれからは、社会における一人一人の価値が高まっていく時代だと言えます。

そして10年前のリーマンショックは非正規雇用を急激に増やし、あるいは製造業の海外移転で地方における若者の雇用の場を減らしました。これが、貧困や格差、地方創生といった今の社会問題につながっています。

本県においては、いち早く取り組んでいる「埼玉版ウーマノミクス」の効果もあり、働きたい女性を支える環境が整ってきました。さらに、活躍し続けたいシニア稼ぐ力を取り戻すことが何よりも重要です。ナノカーボン、医療イノベーション、ロボットなど5分野で取り組む「先端産業創造プロジェクト」では、リチウムイオン電池の2倍を超える大容量が可能なマグネシウム蓄電池の実用化にめどが付くなど成果が出てきました。さらに実用化や製品化を進め、先端産業企業の集積につなげていきます。

そして10年後には今の半分の仕事がなくなるという見方もあることを考えると、子供たちの創造力を伸ばす教育にも力を入れていかなくてはなりません。

さらに、貧困や格差は生活に直結する重要な課題です。「生活保護世帯の子どもの学習支援」は埼玉から全国に広がり、「児童養護施設退所者のアフターケア」は進学、就職、資格取得で大きな成果を上げています。

これからも足元から10年先までをにらんだ本質的な取組を追求し、埼玉の未来を創っていきたいと思います。

今年も県政への御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

バルブ工場と諏訪湖周辺を巡る

視察研修報告

富士管工㈱　大澤　一郎

この度は、空調・衛生設備の専門業者としての見聞を広める目的のもとに、平成29年9月14日にバルブの世界的メーカーでもあり多種多様なニーズに沿った製品づくりに定評のある東洋バルブ㈱、㈱キッツ様のご協力をいただき㈱キッツ茅野工場の見学に行ってまいりました。そのご報告をします。

バルブ工場視察

㈱キッツ茅野工場は、八ヶ岳、諏訪湖といった山と湖の豊かな自然に囲まれた中にあります。工場敷地面積5万坪という広大な広さでキッツグループ最大の敷地面積であります。特徴としては、青銅、黄銅バルブの生産工場で月40万個を生産し、素材から加工・組立てまでの一貫生産工場です。青銅鋳物の生産量は国内トップを誇ります。青銅バルブの生産工程は、鋳型に溶解した銅を注入し型が出来てから、仕上げ、機械加工、組立て、圧力検査を経て出荷となります。商品の在庫管理も全てバーコードを使ったPOCシステムを使って徹底的な無駄を無くした在庫管理がおこなえるとの事でした。

この様々な工程を見学させて頂き感じた事は、機械によるオートメーションが凄まじく「こんな繊細な事も機械で出来るんだ」とびっくりしました。だからなのかこの広大な工場の割に、意外にも働いている従業員の人数は少なく若い女性も多かったと思います。あとこの広い工場を見渡して思った事は、工場内がとても綺麗でゴミひとつ落ちていませんでした。その事を見学担当の人にうかがったところ事故防止の為に常に整理整頓は徹底してるとの事でした。

表紙写真紀行

不破設備工業㈱　不破　隆夫

秩父連山の両神山を源流とする尾ノ内渓谷は、秩父郡小鹿野町河原沢にある。

冬季は流水を散水して凍らせて見事な氷柱群を造る。

細い吊り橋から望む氷景は絶景かな、絶景かな。

無事故・無災害誓い合う

17年度安全大会を開催

昨年10月20日、2017年度安全大会を開催しました。来賓に県都市整備部設備課の須賀浩之副課長を招き、集まった約50人の参加者は、埼玉労働局労働基準部健康安全課の塩野七重課長から、『労働安全行政について』の訓示を受けました。また、機能矯正アドバイザーの河野愛美氏が、ストレッチによる腰痛対策を指導。その後は全員で安全大会宣言を行い、災害予防思想の普及を図り、作業環境を整備し、安全活動を強力に推進することを誓い合いました。

大会は、横田生樹企画経営委員長の開会の言葉で始まりました。横田委員長は「年末、年度末と、建設業において一番の繁忙期を迎えることになりますが、今期も無事故・無災害で、終われるように頑張っていきたいと思います」と述べました。

あいさつする大原会長

主催者を代表してあいさつに立った大原会長は、「せっかく忙しい合間を縫って来ていただいているのですから、訓示をしっかり聞いていただき、参考にしていただきたい。我々は中小零細でありますが、自分の企業、社員のことを考えると、こうした安全大会が、いかに大事かということに気付かされます」と、大会の趣旨への理解、健全経営の堅持に安全が欠かせないことを訴えました。

来賓あいさつで、県の須賀副課長は日ごろの行政への協力に感謝を述べられました。

訓示で塩野課長は、「事故はいつ起こるか分からない。起これば取り返しのつかないことになる」と述べ、建設業で多発する墜落・転落事故を防ぐ手立てとして、はしご、脚立が絶対安全とはいえない道具である認識を強調。適切な使用を呼び掛けました。

引き続き休憩を挟み、河野氏の指導のもと、腰痛対策について実際にストレッチを体験しました。

その後は、正和工業㈱の横田保志富氏の先導により、安全大会宣言を全員で唱和し、大会を終了しました。

■1級、2級管工事施工管理技術検定合格へ受験講習会開催

当協会では管工事施工管理技士の資格取得を積極的に推進しております。今年度は、1級（学科7/15・16）、（実地11/4）に加え、新たに2級受験講習会（10/7・8）を開催し、それぞれ30名前後の受講生を集め、ポイントを押さえた講義と実践的な演習が大変好評でした。

目　次

表紙写真＝尾の内　冬の渓谷美
提供・不破副会長（不破設備工業㈱）

1	年頭のご挨拶
2	バルブ工場視察研修、安全大会、1級・2級管工事受験講習会、表紙写真紀行
3	浦和工高に講師派遣、企業対策セミナー、月例会（振り込め詐欺対策）
4	戌年生まれに聞く
5・6	支部だより、トピックス
7	賛助会員寄稿、グルメリポート
8	賛助会員名簿
9・10	支部別会員名簿
最終面	盆栽シリーズ、編集後記

プロがエアコン取付指導

浦和工高に講師を派遣

県立浦和工業高等学校で、昨年10月24日、恒例となった体験実習授業の『プロフェッショナルに学ぶ』に講師を派遣し、設備システム科1年の生徒40人に、ルームエアコンの設置などを指導しました。生徒は4班に分かれて、講師の指示を受けながら、実際の取り付け作業から試運転までの工程を学びました。

当日は、協会から仲儀公亮氏(三水冷熱㈱)と中村広事務局長が出席。講師は㈱埼玉ヤマトの赤尾智取締役技術部長と、東和敏営業企画部主任の2人が務めました。

設備システム棟3階の実習室で行われた開校式では、科長の櫻井先生が「プロの方の技術を目の前にするチャンスはなかなかないことです。余計なことを考えず、集中して目を凝らして、技術を吸収してもらいたい」と開式の言葉を述べました。

協会を代表して仲儀氏は、「実習にしっかり取り組んでいただき、技能を磨いていただきたい」とあいさつ。また、協会組織や活動内容などを紹介した後、「皆さんが将来、就職を検討される際には、ぜひとも県内の企業で働いていただき、一緒に切磋琢磨できればと思っております。きょうの実習をスキルアップに生かしてください」と励ましました。

グループごと実習に取り組んだ

体験実習前の講話では、赤尾氏が「建物があっても、設備がなければ人は快適に過ごせない。設備を主体に建物を考えることで、時代が求めていることに応える。お客様にメリットを示すことができ、仕事も生まれる。皆さんが設備を学んでいることはすばらしい選択」と、設備業界が人々の暮らしに果たす役割や将来性について、分かりやすく解説しました。

実習では、けがをしない、ガス漏れさせない、作業ミスをしないを目標に掲げ、ヒートポンプと新しい施工技術で環境負荷を減らすために、正しい知識と優れた施工で、高性能エアコンの効率を落とさずに設置することを目的としました。

生徒は1階の実習室に移動し、講師の助言を受けながら、設置前の準備作業でドレンルートなど重要事項を確認。その後、仲間とともに配管・配線、据付・接続、試運転までの工程を体験しました。

振り込め詐欺対策学ぶ

月例会に講師招き講演会

昨年10月20日、今年度3回目の月例会を開催しました。県警察本部生活安全部参事官の坪信孝警視を講師に招き、振り込め詐欺の現状と対策について講演しました。

講師の坪警視

開会にあたり大原会長は、半期を終え、最近の協会活動について報告。「県の工事もそれなりに発注していただき、私どもの共済に関する互助金もかなり上がってきました。毎年行っている緊急時の安全キットの寄贈も、正副会長で西成秀幸県土整備部長にお渡ししてきました。また、1級管工事の資格の試験についても、多くの会員の方が合格したということで、安心しました」とあいさつし、引き続き講師の坪氏を紹介しました。

テーマは『家族の絆・地域の絆で防犯のまちづくり～振り込め詐欺の被害に遭わないために～』。

坪氏は「人は質問されると質問に答えようとする」と、人間の行動パターンを考察した対策を呼び掛けました。

まとめとして、家族間での合言葉を持つ勧めなど、家族の絆による被害防止、声掛けなど地域の絆による見守り、不信な電話や被害に遭いそうな場面での警察への通報を要請。「これらをていねいに浸透させ、根付かせれば、犯罪が減り、笑顔が返ってくる。町内、県内に広げていければ」と話し、講演を締めくくりました。

振り込め詐欺被害に遭わないための対策を学んだ

営繕工事の心得学ぶ

埼電協と共催で 企業対策セミナー開催

飯沼副会長

当協会と埼玉県電業協会の共催による2017年度企業対策セミナーが昨年8月1日、さいたま新都心のラフレさいたまで開かれました。県と国土交通省の職員を講師に招き、両協会の会員約60人が参加。県からは建築工事積算基準の改正などについて、また国交省からは営繕工事の円滑な施工確保に向けた取り組みなどについて説明がありました。法改正による制度上の留意点や、営繕工事の実態を考慮したさまざまな改善策などが紹介され、営繕工事の心得を学ぶ実りあるセミナーとなりました。

開会に先立ち、埼電協の岡村一巳会長は講師4人を紹介。来訪への謝辞を述べるとともに「公共工事を行う上での注意点などについて勉強させていただきたい」とあいさつしました。

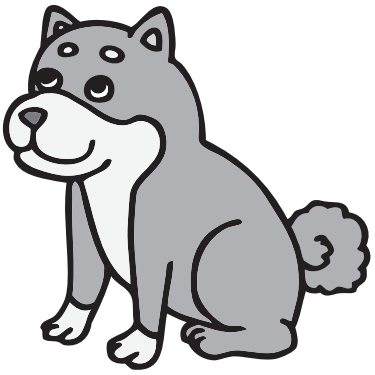
県の講演では、はじめに県土整備部建設管理課の仲宗根克子主幹が建築工事積算基準の改正などについて説明。20年ぶりの改定となった一般管理費等の割合のほか、設計変更ガイドラインなどについて紹介しました。

次に都市整備部設備課の田島和彦主幹が、設備工事施工のポイントについて具体例を挙げ説明。改修前後の比較のため、工事前の既存設備を記録することの重要性を伝えました。

国交省の講演では、関東地方整備局営繕部の三ツ木浩剛官庁施設管理官が、円滑な施工確保に向けた各種取り組みについて、実績要件の緩和や設計変更による無理のない工期設定などを説明。引き続き、地土文信技術・評価課課長補佐が、競争参加資格申請書作成時の留意事項について、営繕事務所のWEBページを参考に、申請書に添付する図面など書類作成上の注意点を詳しく解説しました。

閉会にあたり、飯沼章副会長は「セミナーで学んだことをそれぞれの方が会社に持ち帰り、企業運営に役立てていただければ幸いです」と締めくくりました。

戌年（生まれ）に聞く



㈱北田設備工業
北田　克博
昭和45年1月4日生

知らず知らずのうちに48歳です。勤続23年、会社の代表取締役になり7年目を迎えます。私生活では娘がもう16歳になります。あっという間に時は経ちますね。趣味はルアーフィッシングで、今年の願いは、なんとか座布団ヒラメ（80ｃｍ）と出会いたいと思っております。まあ朝焼けの綺麗な海が見られて、人・魚ともに良い出会いがあればそれで十分ですけどね！今年も全力で駆け抜けて参りますので宜しくお願い致します。

富士管工㈱
木村　淳子
昭和33年2月13日生

戌年生まれです。ワンワンキャンキャン言いながら生きてきて、気がついたら還暦になりました。

比較的恵まれた世代と言われ、確かに高度経済成長期やバブル景気を経験しましたが、その後のどん底、アナログからデジタルへの転換期も経験し、そこそこ大変な世代だという気がします。

吠えたり噛みついたりする元気があったのは昔の話。今では尻尾も丸まり、今後は年々鈍くなる己の頭と体をいたわりつつ、日々を大切に暮らしていきたいと思っています。

セイフル㈱
新井　哲男
昭和45年1月12日生

新年あけましておめでとうございます。

今年の目標は、「チームで仕事をする」ことです。

私は仕事を抱えこんでしまうところがあるので、作業を分担して、チームのみんなと仕事を効率良く進めていきたいです。

そして、休日は、家族や友人と過ごせる時間を増やし、公私ともに充実した1年にしたいです。

健康に気を付けて一生懸命頑張ります。

㈱埼玉ヤマト
伏見　佳徳
昭和45年5月8日生

新年明けましておめでとうございます。早いもので4回目の干支、今の会社に入社して16年を迎えました。ここまで過ごせたのも、周りの皆様のおかげと感謝しております。月並みですが、今年も一年健康に心がけて過ごしたいと思います。

３０代半ばに初めて富士登山挑戦し、その後は数年毎に計4回ほど行ってます。途中は苦しいですが、山頂に立った時の達成感はたまりません。今年は仲間と5回目に行きそうな感じなので、その時のためにも日頃から歩くことを意識して、体力維持をしていきたいです。

正和工業㈱
清水　美紀
昭和45年1月20日生

明けましておめでとうございます。

もう人生4度目？の年女を迎えるのだなぁと改めて感じております。

新年の抱負としましては、去年転職をしまして今の会社に入社しました。

今年は管工事施工管理技士の資格を取得できる様に頑張りたいと思います。

私生活としましては、日々運動不足を感じておりますので、少しずつでも何か運動を始め、体力づくりをしたいと思っております。

本年も宜しくお願い致します。

支部だより

北部支部

「行田の小話」

㈱清水アーネット　鎮目　真紀

新年おめでとうございます。と、年始の挨拶から入りましたが、今これを書いているのは11月中旬です。

今、北部支部では行田が盛り上がっています。行田と云えばさきたま古墳や忍城などご存じかと思います。

「のぼうの城」でも忍城が舞台でした。そして2017年秋ドラマでは「陸王」も放送されました。行田が舞台のお話ですが、実際撮影も行田市内で沢山されており、私もエキストラで何度か参加もしました。えーと、有休をいただいて。主人に子供を預けて。す、すみません。かーちゃん思い切りエンジョイしちゃったよ。

ベテラン俳優さんや若手の俳優さんの演技を間近で拝見することが出来て、とても貴重な体験をすることが出来ました。

また、実際にドラマでその時のシーンが流れると、私も一女優として(笑)ワクワク度が増して、よりドラマを楽しんで観ることが出来ました。エキストラ、ハマりそうで怖いです。

また、行田といえばフライやゼリーフライもご存じかと思います。私も子供の頃、休日のお昼はよくフライを買って食べていたので、今でも無性に食べたくなります。まだ食べたことのない方も沢山いらっしゃることと思いますので、行田へお越しの際はぜひ召し上がってみてください。

私のお薦めはさきたま古墳近くにある「さんぽ道」というお店のゼリーフライです。2016年度の「行田ゼリーフライ選抜総選挙」にて優勝された実力のお店。他にもコロッケ定食やチキン南蛮定食もとても美味しくて、ボリュームもあってお薦めですよ。

こちらのお店は弊社業務課の加藤さんのお母様が経営されていて、木の温もりとお母様のお人柄も素敵です。是非！

さいたま支部

「奄美大島」

積田冷熱工事㈱　齊藤　義輝

先日、一般社団法人埼玉県冷凍空調工業会の研修見学会で奄美大島に行きました。初めは奄美大島??どこだっけ?もちろん行ったこともなければ正直意識したことも殆どない場所でした。

一泊二日のハードな日程で大丈夫かとも思いましたが、羽田から飛行機で約2時間、結果的にはさほど遠い場所という感じではなかったように思います。

そのような奄美大島へ着き、あやまる岬・奄美パークという海が見渡せる岬に行き、まずは奄美の自然というものを感じさせていただきました。

そして夜は生三線を聞きながらの郷土料理。これもなかなかの日頃ない雰囲気を味わいました。

二日目は、西郷隆盛が蟄居していた住居を見ることができ、黒糖焼酎の工場を見学。

ここではかなりの美味しい黒糖焼酎が試飲できたにもかかわらず、ほとんどの人が前日のお酒が残っていたので堪能できなかったのではないかという感じでした。

そして大島紬の工場。こんな繊細な作業のもとに大島紬ができてるんだと感心したのとともに、こんなに高級品なんだと知りました。

もちろんお土産に買える金額ではなく、大量の黒糖関係のものを買いました。

あっという間の二日間も終わり帰路へ。

正直初めはこんな、何もなさそうな遠いところなんか行きたくないと思っていた研修見学会でしたが、今まで感じたことのないような雰囲気と文化、自然にふれることのできた貴重な体験になった旅行でした。

トピックス

◎県土づくり優秀建設工事施工者表彰・優秀現場代理人等表彰に当協会会員の3社と1氏が受賞

課・所別の受賞者と対象工事は次のとおり。

【優秀建設工事施工者表彰】

＜設備課＞

▽㈱ナカノヤ＝16春日部高等技術専門校エコトイレ・連絡通路機械設備改修工事

▽大宮管工㈱＝16宮代特別支援学校小学部棟ほか全体改修給排水設備工事

▽埼玉設備工業㈱＝26県住入間霞川団地第3工区機械設備工事

【優秀現場代理人等表彰】

＜設備課＞

▽渡部亨氏（㈱ナカノヤ）＝16春日部高等技術専門校エコトイレ・連絡通路機械設備改修工事

◎県関係部局へ要望書を提出

昨年9月1日、当協会と、埼玉県電業協会、埼玉県設備設計事務所協会の建築設備3団体合同で、『分離分割発注に関する要望書』を、飯島寛副知事をはじめ、県土整備部、都市整備部、同設備課の幹部に提出しました。

飯島副知事（右から2人目）と3団体幹部

西部支部

「家族と動物園」

埼玉設備工業㈱　布川　憲司

先日、家族4人で東武動物公園に行ってきました。

今年も学校の夏休み工事に携わっていたため、なかなか家族で出掛けられなかったことと、娘たちの要望により行き先が決まりました。

娘たちは直接触れ合えることのできるウサギやヒヨコ、モルモットなどが気に入っているようでした。

妻はなぜかサイを気に入ったようでした。（理由は全く不明です。）

私はワオキツネザルがとても気に入りました。

他にもホワイトタイガーやペンギン、アシカのショー、動物へのエサやり体験などでとても満喫できました。

ところで、12月には上野動物園でジャイアントパンダの赤ちゃん、シャンシャンが公開されました。じつに29年ぶりの出来事だそうです。

これも楽しみな出来事ですね。

私が子供のころの事を思い返すと、私の父も同じ建設業の人間で、当時はとても忙しい様子でしたが、たまの休みになるといろいろな所へ連れて行ってくれました。

動物園や水族館、海水浴や野球観戦、たまに現場にも連れていかれました。

自分が今、父と同じ立場になってみると、なかなか大変だったんだなという気持ちと、いろいろと思い出を作ってくれた感謝の思いがあります。

あと数年で娘たちは中学生になります。中学生になれば忙しくなって、家族で出掛けるのは少なくなるでしょう。

それまではいろいろな所へ家族で出掛けて連れて行ってあげたいと思います。

東部支部

「子育てからの卒業？」

㈱浅倉水道　川村　修

私には子供が四人います。

一番上の子から一番下の子まで、十一歳離れているので、幼稚園、小学校、中学校など毎年、十数年通いました。

最初の子供が誕生した時は、当然手探りの子育てで大変苦労したのを今でも思い出します。二人目は多少楽に子育てが出来、三人目四人目は上の子が大きくなった事により下の子がぐずった時に遊んでくれたり、ミルクをあげてくれたり、少しずつだが面倒を見てくれる様になって来て大助かり。しかし、順に上の学校に行くに従い、今度は学費などなどが掛かり家計は火の車状態、でも待ったなしで次から次へと進学、卒業の繰り返し四人も居ると学校行事も重なる事もあり、大変な思いもしたことがありました。

そんな子供たちも皆成人しました。そして、末っ子が来春ようやく専門学校を卒業になり、いや、まだ卒業出来るか解らないが、一応卒業予定。これで、ひとまず子育てを卒業かなって思っています。

しかし、子供たちは親を休ませてはくれません。末っ子が成人したと言うことは上が三十歳を超える訳で結婚し孫が生まれ、ちょっと見てくれと言われ、孫を預かる事もあり、何だかふりだしに戻された様になりました。

まあ、自分の子育てと違うのは、親ではないので責任がなく、ただただ可愛いので甘くなってしまう事でしょうか。でも、昔の様に体力がないので、孫の面倒を見ていると、物凄く疲れますが、それも私にとって、仕事への活力になっているのも事実ですけどね。

今は、四人の子供達を育て、本当に良かったと思います。これからは、孫育ての手伝い、まだまだ続きますが頑張ります。

賛助会員寄稿

五家宝

ダイダン㈱ 関東支店 営業課 深田 実穂

私の一番好きなお菓子地元熊谷の銘菓「五家宝」についてお話したいと思います。

五家宝と書いて「ごかぼう」と読みます。文政から親しまれてきたお菓子で熊谷では当初「五嘉棒」という名称で売りだされましたが、「五穀は家の宝である」という意味を込めて五家宝という表記になったと言われています。

埼玉三大銘菓と言えば、草加の草加煎餅と川越の芋菓子、熊谷の五家宝と言われ、五家宝はおこし種を水あめなどで固め棒状にしたものをきな粉に水あめなどを混ぜた皮で巻き付け、その上から再度きな粉を表面にまぶしたお菓子です。

熊谷では小学校の社会科見学で五家宝工場を見学したり、いつも身近にあるお菓子です。

上品な甘さが特徴で、特にきな粉好きな方にはたまらない絶品です。

伝統的な技法で作られ添加物が一切使われていないので、栄養価の高い滋養に富む自然食品としても注目されています。

洋菓子の様なインパクトのある見た目ではありませんが、一度食べたらまた食べたくなるようなお菓子です。

熊谷にお越しの際はぜひ食べてみてください。

一人旅の魅力

ユアサ商事㈱ 北関東住環境マーケット部 佐藤 智史

可愛い子には旅をさせろ。という諺がありますが、三十路手前に差し掛かり、可愛いとは到底言えない私の趣味は一人旅です。これまで約40ケ国を訪れました。中でも印象に残っているのは、イスラム圏の国々です。特にイランとモロッコは驚きの連続でした。溜息が出る程緻密で美しいモスクのモザイクや、神秘的な音楽、食事は一生ケバブ等々…数え切れません。文化・言葉・歴史は日本と全く異なります。だからこそ気づく素晴らしさに魅了されました。

今年の年末年始は、ウズベキスタンに行く予定です。中央アジアに位置し中世ではシルクロードの要所でした。サマルカンドは青の都と呼ばれる美しい都市だそうです。新しい発見と、結婚相手との出会いに期待し旅に出たいと思っております。

この行動力をこれからは仕事に生かし、周囲へ貢献できるよう尽力したいと思います。

グルメリポート(18)

富士管工㈱ 大澤 一郎

篝一番人気の上品でクリーミー「鶏白湯SOBA」はまるでおしゃれなパスタ!

「ミシュランガイド東京２０１６」に掲載され、銀座のラーメンランキングでも一位になった「銀座　篝（かがり）」。今回は浦和にある支店「銀座　篝（かがり）浦和アトレ店」の絶品ラーメンをご紹介します。

場所は蔦屋書店などがはいる浦和の新名所「アトレ浦和」にあります。

店内はまるで小料理屋さんのような落ち着いた雰囲気です。そんな雰囲気を堪能しながら案内された席に座り、先に注文したラーメンが運ばれてきます。

今回は一番人気の「鶏白湯ＳＯＢＡ」をオーダー。見た瞬間、テンションが上がってしまう彩りの良さ！

季節によって上に乗るトッピングは変わり、今回はキャベツ、さつま芋、ごぼう、マコモダケといった今が旬の野菜がきれいに乗せられていました。

スープは乳白色でとろみのある白湯スープなので、野菜の彩りがより美しく見えます。

一口スープを飲むと、予想以上に優しく上品な味です。味の濃厚さもしっかりとありながら、しつこさは全く感じないクリーミーなスープで後味がほんのり、ゆずの風味を感じます。

これまで食べたラーメンとは全く別物で、これが鶏白湯というものかと衝撃を受けること間違いなしです。

ラーメンを食べ慣れていない国の旅行者でも、抵抗なく食べられるラーメンだと思います。そんなところも外国人観光客が多い理由の一つかも知れません。

是非、浦和に立ち寄った際においしいラーメンはいかがですか。

銀座　篝（かがり）浦和アトレ店

浦和駅 東口 徒歩1分

営業時間　11：00～23：00　定休日　不定休（アトレ浦和に準ずる）

第１種賛助会員

㈱朝日工業社 北関東支店
〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町1-11-9
TEL048-643-2911 FAX048-643-2979

三建設備工業㈱ 北関東支店
〒330-0845
さいたま市大宮区仲町3-13-1
TEL048-650-5400 FAX048-649-6400

新菱冷熱工業㈱ 関東支店
〒330-0802
さいたま市大宮区宮町1-38-1
TEL048-643-2222 FAX048-643-2263

高砂熱学工業㈱ 関信越支店 埼玉営業所
〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町1-10-16
TEL048-650-1202 FAX048-643-0882

ダイダン㈱ 関東支店
〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町1-10-2
TEL048-644-8468 FAX048-645-8384

大成設備㈱ 北関東支店
〒337-0051
さいたま市見沼区東大宮5-30-15
TEL048-687-3281 FAX048-687-3431

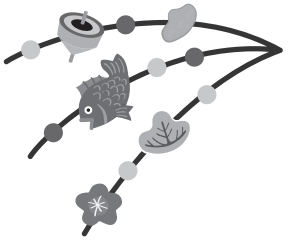
東洋熱工業㈱ 北関東営業所
〒330-0846
さいたま市大宮区大門町3-22-3
TEL048-646-0604 FAX048-644-8088

大成温調㈱ 関東支店
〒331-0812
さいたま市北区宮原町2-34-3
TEL048-669-3811 FAX048-669-3812

㈱テクノ菱和 北関東支店
〒330-0802
さいたま市大宮区宮町3-9-7
TEL048-640-5775 FAX048-643-0211

第一工業㈱ 北関東営業所
〒331-0812
さいたま市北区宮原町3-58
TEL048-661-8211 FAX048-661-8222

三機工業㈱ 関東支店
〒330-0802
さいたま市大宮区宮町3-13-2
TEL048-644-3425 FAX048-649-1966



第２種賛助会員

㈱ＬＩＸＩＬ 東埼玉支店
〒336-0911
さいたま市緑区三室1158-3
TEL048-875-6032 FAX048-875-6042

紘永ＣＭＣ㈱
〒360-0843
熊谷市三ヶ尻3047
TEL048-532-3969 FAX048-532-1461

積水化学工業㈱
〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町4-333-13
TEL048-646-0160 FAX048-644-9316

ダイヤケミカル㈱
〒323-0029
栃木県小山市城北2-1-3
TEL0285-25-2785 FAX0285-25-3502

TOTO㈱ 北関東支社
〒337-0042
さいたま市見沼区南中野672-1
TEL0570-088701 FAX048-680-1200

㈱エヌ・ワイ・ケイ
〒349-0131
蓮田市根金1689-1
TEL048-766-1211 FAX048-767-1021

深川機械販売㈱
〒332-8555
川口市西青木2-9-5
TEL048-257-3111 FAX048-256-6629

ダイキンＨＶＡＣソリューション東京㈱
〒330-0852
さいたま市大宮区大成町3-276-1
TEL048-661-3520 FAX048-661-2625

内藤環境管理㈱
〒336-0015
さいたま市南区太田窪2051-2
TEL048-887-2590 FAX048-886-2817

テラル㈱ 北関東支店 大宮営業所
〒337-0053
さいたま市見沼区大和田町2-1018-2
TEL048-681-7822 FAX048-681-7082

森松工業㈱ 北関東営業所
〒335-0022
戸田市上戸田1-17-19
TEL048-447-8068 FAX048-447-8098

三菱電機冷熱機器販売㈱ 北関東支店
〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町1-11-3
TEL048-657-3022 FAX048-657-3023

㈱川本製作所 北関東支店
〒330-0801
さいたま市大宮区土手町1-63-1
TEL048-650-5871 FAX048-650-5861

ユアサ商事㈱
〒331-0812
さいたま市北区宮原町4-7-5
TEL048-652-1481 FAX048-651-8110

㈱中西製作所 北関東支店
〒331-0811
さいたま市北区吉野町2-177-1
TEL048-667-1081 FAX048-663-4046

㈱荏原製作所 北関東支社
〒331-0822
さいたま市北区奈良町14-3
TEL048-666-3338 FAX048-652-0865

㈱リッショー
〒340-0011
草加市栄町3-4-3
TEL048-933-2555 FAX048-933-2556

㈱セオス さいたま支店
〒337-0024
さいたま市見沼区片柳1-116
TEL048-685-0904 FAX048-685-0551

岡部バルブ工業㈱ 川越営業所
〒350-0837
川越市石田1-1
TEL049-224-4111 FAX049-224-4040

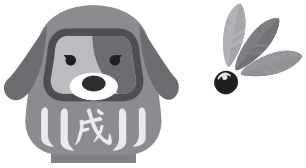
大水産業㈱ 本社・浦和工場
〒339-0025
さいたま市岩槻区釣上新田318
TEL048-791-2887 FAX048-791-2870

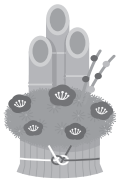
日本管材センター㈱
〒104-0032
東京都中央区八丁堀2-24-3
TEL03-5541-5111 FAX03-5541-5707

㈱小泉北関東
〒330-0856
さいたま市大宮区三橋2-603
TEL048-623-6311 FAX048-622-5106

渡辺パイプ㈱ 埼玉支店
〒331-0811
さいたま市北区吉野町1-399-3
TEL048-652-9751 FAX048-654-1913

謹　賀　新　年

ハギワラ株式会社 〒337－0003 さいたま市見沼区深作3－24－3 電話 048(681)0220㈹ FAX 048(681)0221	**三水冷熱株式会社** 〒338－0832 さいたま市桜区西堀10－12－29 電話 048(853)7151㈹ FAX 048(852)9653	**さいたま支部**
株式会社アステック 〒338－0835 さいたま市桜区道場字拾石田709－1 電話 048(857)5757㈹ FAX 048(857)5700	**積田冷熱工事株式会社** 〒330－0073 さいたま市浦和区元町2－18－13 電話 048(886)8311㈹ FAX 048(886)8169	**株式会社ヤマト埼玉支店** 〒339－0082 さいたま市岩槻区西原台1－1－10 電話 048(757)1110㈹ FAX 048(757)1106
ミヤザワ工業株式会社 〒365－0023 鴻巣市笠原1688－1 電話 048(542)6417㈹ FAX 048(542)5218	**大宮管工株式会社** 〒331－0822 さいたま市北区奈良町154 電話 048(663)2154㈹ FAX 048(652)7833	**株式会社飯沼工務店** 〒331－0812 さいたま市北区宮原町4－67－1 電話 048(663)3465㈹ FAX 048(666)1080
株式会社シンエイ 〒331－0802 さいたま市北区本郷町260 電話 048(666)3366㈹ FAX 048(667)6229	**株式会社新研設備工業** 〒338－0832 さいたま市桜区西堀8－12－15 電話 048(856)2911㈹ FAX 048(851)5155	**株式会社泉屋工務店** 〒336－0031 さいたま市南区鹿手袋3－4－10 電話 048(864)1171㈹ FAX 048(866)4825
株式会社埼玉ヤマト 〒339－0082 さいたま市岩槻区西原台1－1－10 電話 048(757)2200㈹ FAX 048(757)2218	**株式会社サイエイヤマト** 〒339－0082 さいたま市岩槻区西原台1－1－10 電話 048(758)1308㈹ FAX 048(756)5889	**株式会社大クマ工業** 〒338－0013 さいたま市中央区鈴谷9－13－8 電話 048(852)6862㈹ FAX 048(852)2921
タカセ工業株式会社 〒336－0918 さいたま市緑区松木2－32－4 電話 048(873)9910㈹ FAX 048(874)1968	**富士管工株式会社** 〒330－0843 さいたま市大宮区吉敷町4－11－1 電話 048(641)2385㈹ FAX 048(644)6843	**県南設備工業株式会社** 〒337－0051 さいたま市見沼区東大宮2－31－2 電話 048(663)5941㈹ FAX 048(651)0264
株式会社金子設備 〒362－0063 上尾市小泉9－3－14 電話 048(773)6057㈹ FAX 048(774)6257	**株式会社細田管工** 〒353－0003 志木市下宗岡3－4－9 電話 048(473)7232㈹ FAX 048(475)2075	**株式会社深井設備工事** 〒330－0851 さいたま市大宮区櫛引町1－823 電話 048(664)3297㈹ FAX 048(664)3250
長沼設備工業株式会社 〒367－0047 本庄市前原2－3－18 電話 0495(24)2434㈹ FAX 0495(21)5157	**株式会社オキナヤ** 〒360－0114 熊谷市江南中央2－17－1 電話 048(539)3333㈹ FAX 048(539)3344	**北部支部**
セイフル株式会社 〒366－0801 深谷市上野台2423－6 電話 048(572)2442㈹ FAX 048(572)6840	**株式会社並木設備工業** 〒360－0853 熊谷市玉井1823 電話 048(532)6339㈹ FAX 048(533)1091	**株式会社清水アーネット** 〒360－8521 熊谷市問屋町4－3－2 電話 048(525)0123㈹ FAX 048(526)6524
	**株式会社ソーセツ** 〒360－0833 熊谷市広瀬416－1 電話 048(524)5821㈹ FAX 048(525)4863	**株式会社堀田設備工業** 〒355－0073 東松山市上野本951－2 電話 0493(24)1151㈹ FAX 0493(24)1107



謹　賀　新　年

東部支部

県西冷熱工業株式会社
〒341－0034
三郷市新和4－463
電話 048(954)2553㈹
FAX 048(954)2554

株式会社杉本設備
〒347－0017
加須市南篠崎1066－6
電話 0480(65)0581㈹
FAX 0480(65)5483

有限会社本田工業
〒344－0035
春日部市谷原新田1404
電話 048(736)2929㈹
FAX 048(737)4381

竹内セントラル株式会社
〒340－0036
草加市苗塚町438－16
電話 048(928)5525㈹
FAX 048(928)5575

株式会社協和設備
〒343－0035
越谷市大道478
電話 048(973)6000㈹
FAX 048(973)6001

株式会社磯部工業
〒341－0036
三郷市東町46
電話 048(955)4905㈹
FAX 048(955)5288

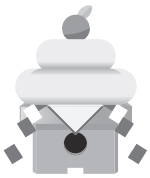
株式会社ナカノヤ
〒343－0025
越谷市大沢3－28－11
電話 048(974)8711㈹
FAX 048(976)1252

正和工業株式会社
〒344－0014
春日部市豊野町2－32－19
電話 048(736)6111㈹
FAX 048(734)9890

株式会社篠田設備
〒341－0023
三郷市仁蔵448－1
電話 048(954)8625㈹
FAX 048(954)8626

株式会社ユニパック
〒332－0021
川口市西川口2－7－1
電話 048(258)6991㈹
FAX 048(258)6992

株式会社浅倉水道
〒332－0022
川口市仲町18－5
電話 048(252)6820㈹
FAX 048(252)6825



有限会社梅沢水道
〒333－0842
川口市前川3－17－9
電話 048(265)7739㈹
FAX 048(269)0176

株式会社今泉水道
〒340－0024
草加市谷塚上町483－3
電話 048(927)1010㈹
FAX 048(922)1316

西部支部

株式会社糟谷設備工業所
〒359－1145
所沢市大字山口2825－1
電話 04(2923)8888㈹
FAX 04(2923)8869

日開設備工業株式会社
〒350－0021
川越市大字大中居390－1
電話 049(235)8611㈹
FAX 049(235)8610

株式会社協同エンジニアリング
〒350－1333
狭山市上奥富新堀97
電話 04(2954)6321㈹
FAX 04(2952)7295

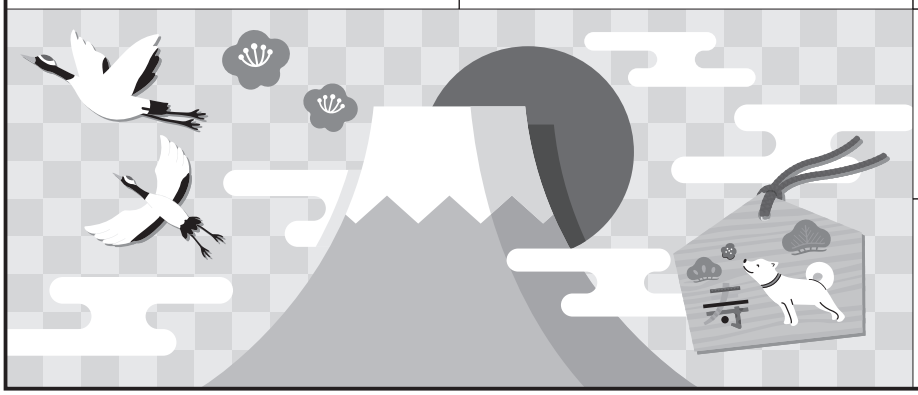
昭和工業株式会社
〒350－0824
川越市石原町2－58－16
電話 049(224)6149㈹
FAX 049(224)6664

埼玉設備工業株式会社
〒350－1131
川越市岸町1－15－16
電話 049(241)4343㈹
FAX 049(241)1111

株式会社渋谷設備工業
〒350－1327
狭山市笹井1－5－8
電話 04(2952)4964㈹
FAX 04(2952)1201

入間空調株式会社
〒358－0026
入間市大字小谷田644－1
電話 04(2963)0261㈹
FAX 04(2963)8928

株式会社北田設備工業
〒357－0021
飯能市大字双柳5－1
電話 042(973)3241㈹
FAX 042(974)2699



不破設備工業株式会社
〒358－0053
入間市仏子1202－4
電話 04(2932)0731㈹
FAX 04(2932)5515

株式会社貫井産業
〒359－0025
所沢市大字上安松909
電話 04(2993)0110㈹
FAX 04(2998)2273

盆栽シリーズ

「盆栽に思う」

一般社団法人日本盆栽協会　理事　大澤　規郎（富士管工㈱）

世界盆栽大会も大宮で盛大に行われました。大宮の地名も世界に知れ次の100年に向け新たな出発をしました。早いもので平成30年の新春を迎え今年も盆栽を広めていきたいと思います。

題材の五葉松は自然の厳しさを石上に再現し創作盆栽の逸品、枯れて白骨化した神（ジン）舎利（シャリ）を背負いながら今生きようとする樹の情景を的確な配置と作り込みにより表現している。樹齢90年位見事な石付盆栽である。

【五葉松】

会報「風と水と」第67号

平成30年1月発行

発行所　一般社団法人　埼玉県空調衛生設備協会

発行人　大原　萬彌

編集　広報委員会

事務局　〒338－0002

さいたま市中央区下落合4－8－10

TEL 048(855)4111

FAX 048(853)0676

ホームページ　http://saikuei.com/

＜編集後記＞

広報委員会幹事　山田　千代吉

あけましておめでとうございます。

今年は平成30年という節目の年ですが、「風と水と」は新春号で67号となります。

広報誌といえば皆様に配布した後、楽しみながら読ませていただいておりましたが、今回広報の一員となり、編集の打ち合わせ等で、担当の皆様がいかに広報の重要性を認識され進めてこられたかを知り、少しでもお役に立てる様に努めてまいりたいと思っております。

今回の発刊に当たり寄稿していただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

また毎回表紙に貴重な写真を飾って下さる不破様、並びに裏面では普段は目にすることの出来ない見事な盆栽の写真を、提供していただく大澤様には改めて感謝申し上げます。

これからも「風と水と」をどうぞ宜しくお願い致します。